

大乘としての浄土

大乘としての浄土

山口益

YAMAGUCHI Susumu



響流書房



発売日: 2018年1月12日

出版: 響流書房

著者: 山口 益

ページ: 144

PDF

浄土教は一般の大乘仏教とは特殊に分かれたものなのか。そもそも「浄土」とは何か。龍樹、世親の思想を中心に、浄土は単に向こうの方にあるユートピア・夢幻郷・理想郷でなく、現

に衆生の迷妄が浄化せられている歴史的事実であることを明らかにする。浄土教の根幹とも言える問いに、大乘仏教の思想史から真正面に向き合った、歴史的名著の電子書籍化。

目次

- 1 釈迦牟尼仏陀と現代人
- 2 仏伝における大乘の問題
- 3 龍樹とその根本中論
- 4 中論の帰敬偈
- 5 戲論寂滅 = 縁起甚深
- 6 空性 空用 空義
- 7 十住毘婆沙論の説示する浄土
- 8 易行道の要項
- 9 世親の浄土論
- 10 唯識とその転依
- 11 証悟の究竟としての浄土
- 12 浄土往生の行
- 13 結び
- 14 浄土について（追補）

山口 益（やまぐち すすむ）

1895年、京都府京都市生まれ。

大谷大学卒業後、1927年より1929年までフランスに留学。1933年大谷大学教授、1957年フランスアジア学会名誉会員、1964年大谷大学名誉教授。文学博士。その後、日本学会議会員、大谷大学学長、真宗大谷派真宗教学研究所所長等を歴任。

1962年紫綬褒章受章、1965年日本学士院会員、1976年仏教伝道功労賞受賞。1976年年没。

『仏教に於ける無と有との対論』『中観仏教論攷』（以上、山喜房佛書林）、『世親の成業論』『世親の浄土論』『般若思想史』（以上、法蔵館）、『アポロン仏』『仏教思想入門』（理想社）、『空の世界 龍樹から親鸞へ』『大乘としての浄土 空・唯識から念仏へ』（大法輪閣）など著書多数。

<https://rapidgator.net/file/70bc623d0794ceac7011a8db743db0c1/l2rwliSgl.pdf.rar.html>